

新たに3製品決まる

市総合特区事業
最先端介護機器

11月から貸与

在宅介護の充実を目
指す岡山市の総合特区

事業で、高齢者らに貸
し出す最先端介護機器
として新たに3製品が
決まった。認知症の改
善を目的としたコミュ



コミュニケーション
ロボット型介護

ドルやブレ
ーキを操作
できる歩行
支援のリハ
ビリ用具。

市の全国公
募に応じた
ト。現在、触ったり話
し掛けたりすると反応
する縫いぐるみロボッ
ト、遠隔見守りシステ
ム、握る動作をサポート
する手袋の3製品を
扱っており、8月末ま
でに延べ74人が利用し

利用者が貸与料全額を
負担する必要がある
が、市が特区事業とし
て取り組むことで介護
保険と同じ1割の自己
負担で利用できる。自
己負担は月額1500
6000円(税抜き)。
最先端介護機器の貸
し出しは1月にスター
ト。現在、触ったり話
し掛けたりすると反応
する縫いぐるみロボッ
ト、遠隔見守りシステ
ム、握る動作をサポート
する手袋の3製品を
扱っており、8月末ま
でに延べ74人が利用し

利用希望者は各機器
のメーカーが設ける窓
口に電話で申し込む。
問い合わせは市医療
政策推進課(803-
1638)。
(高下修)

ニケーション型介護ロ
ボットなどで、10月か
ら申し込みを受け付
け、11月に貸し出しを
始める。

ると言葉を返したり、
うなずいたりするロボ
ット▽介護をする人が
要介護者を楽に抱きか
かえられる腰部サポー
トウェア▽片手でハン

貸し出しの対象は、
介護保険で要介護と認
定され、自宅で過ごす
3製品は本来、
市民。3製品は本来、



腰部サポータートウェア

歩行支援のリハビリ用具